

インターンシップの受け入れについて

令和2年8月24日(月)から28日(金)まで米代西部森林管理署では、大学生(院生)のインターンシップを実施しました。

募集人員は2名でしたが、3名の応募があり、3名とも受け入れを行いました。森林・林業への関心の高さが募集人員をこえる応募につながっていると思われます。

5日間だけでしたが、風の松の原森林病虫害被害状況確認、希少動植物等保護啓発活動、収穫調査現地調査間伐の体験に加え、高齢級秋田スギ採材現地検討会への参加、仁鮎水沢スギ希少個体群保護林、林道工事現場の見学の機会もあり、インターン生からは、「実際の現場を体験することができ森林の多面的な面を学べて良かった。」「天然秋田スギを保存している状況と素晴らしさを再認識することができた。」「立木伐採のための収穫調査を体験し、大変さと大切さが改めて解った。」等の感想が聞かれました。

また、最終日には若手職員から、自からの経験などを話してもらい、インターンシップ生の不安解消に一役買いました。

今年はコロナ関係や猛暑という大変な時期ではありましたが、ケガや体調を崩す学生もなく、無事に終了しました。

